

秘

昭和二十六年七月一日

陸軍

電報

次長宛

剛部隊參課長

即方參二電第七五三號

「ムンダ」コロバンガラ陸軍部隊ノ主要ナル兵器彈藥糧秣ノ現況次ノ如シ

一、兵器（門銃數）彈藥（同上彈藥ノ發數）

重機四二（一八萬）

重擲彈筒一〇〇（六六〇〇）

九二式步兵砲六（三〇〇〇）

四一式山砲六（二五〇〇）

速射砲四（七〇〇）

自動小銃五〇（五萬）

戰車地雷(七〇〇)

破甲爆雷(八〇〇)

八八式七高射砲二六(五〇〇〇)

九八式高射機關銃一八(六〇〇〇)

一三耗高射機關銃一八(一萬)

目下八八式七高射砲四門彈藥約九〇砲前送手配中

二糧秣八陸軍全兵額(六二〇〇)二對之八月下旬迄ヲ保

有ス(三十日十七時)

(終)

至急秘親展

昭和十八年七月一日

陸軍

電報

通電先次長岡

參考堅襲猛沖 剛部隊參謀長

剛方參電第七二號(本電ハ電信所ヨリハ宛名翻譯不能)

第三報

一敵輸送船團(輸送船六、驅逐艦八、水雷艇一ヲ認

ム) 三十日五時頃「ムンタ」南方「アンバーバ」沖合ニ現出

「レントバ」島ニ上陸ヲ開始セリ 五時三十分敵驅逐艦ハ

掩護射撃ヲ開始ス 五時五十分敵機「ムンタ」上空ニ來

襲ス(機數不明)

二海軍第一次空襲部隊ハ九時同地上空ニテ敵戦闘機ト交

戦シ其ノ三一ヲ撃墜セルモ(内ハ不確實)我モ亦未歸還

2029

四機

三之ニ先ダチ敵輸送船團ハ八時三十分頃ヨリ浮上セル大發集結レ「ブランチ」水道ヲ東方ニ退避セルモ十時反轉十時二十分再ビ「レントバ」港沖合ニ入泊シ大發約五〇隻ヲ以テ揚陸ヲ行ス十四時三十分「レントバ」ヲ東方ニ出港セリ
四海軍第二次空襲部隊之ニ對シ十五時五十分雷撃ヲ實施輸送船一ヨ輾沈四隻ヲ炎上セシメ「グラマン」戦闘機四ヲ撃墜セリ

五「ビル」(「ムンダ」東南方約五〇料)方面ニ於テハ敵驅逐艦二隻ハ小發ヲ以テ上陸ヲ企圖セルガ如キモ交戦二十分ニシテ之ハ逐次「ムンダ」方面ニ退却セリ

「マヅラ」島「コロバンガラ」方面ハ五時三十分砲聲ヲ聞ク
ノミ新報ニ接セズ

六「ジョートランド」及「バラ山島」ハ三十日零時ヨリ約十五分

間水上艦艇數隻ノ砲撃ヲ受ケ又十時三十五分敵機大編隊來襲セリ

「レガタ」方面變リナキ如ク報告ロニ接セス

「ナツソウ」灣（「サラモア」南方）方面ノ敵ハ特大發約二三隻ヲ以テ上陸「ブヤウイム」河口附近椰子林中ニ集結中ノ如シ

我が「ナツソウ」警備隊ハ此ノ敵ヲ攻撃中ナルガ如キモ未ダ確報ヲ得ズ該方面天候不良ニシテ我が飛行機ノ活動ヲ許サズ（三十日十六時三十分）
（終）

至急極秘

昭和一八七二

陸軍

電報

通電先次長、剛沖、南東支隊長

南支電第一二三號（其ノ一未著ナルモ取敢ズ配布）

一、晝夜ニ亘リ輸送船ヨリ堂々陸揚ゲヲ實施シ七月一日朝ニハ重材料ヲモ揚陸ス

但シ九時頃迄ニ揚陸ハ一段落セルカ如シ

二、終始敵ノ驅逐艦浮上潛水艦魚雷艇等ハ「レンドニシ」ムンダ、中間海面ヲ往來ス

三、準備工事ヲシキ爆音ヲ頻繁ニ聞ク相當大規模ナル工事ヲナシアルモノ如シ

四、天明ヨリ日没迄殆ド絶間ナク敵戰鬪機數機上空ヲ哨戒ス

2033

五「ムンダ」及「レンドバ」中間ノ列島ノ線ニ彼我小部隊交

錯ス?

六末ダ大規模目撃物ナル爆撃及艦砲射撃ヲ受ケズ

七「ワナワナ」「レンドバ」「ビル」等ニ上陸シ「レンドバ」ガ主力

ナルガ如シ

「ゴロンバン」ガラ「方面」ハ末ダ大ナル異状ヲ認メズ

「バイロコ」(「ムンダ」北方約一五浬海岸)ハ末ダ爆撃ヲ受

ケズ

以上ヨリ判断スルニ敵ハ主力ヲ以テ「ムンダ」ニ強行上陸開始ノ

近キニアルハ前電報告ノ如シ(一日二十一時三十分)

(終)

至急極秘

昭和一八七三

陸軍

電報

七、六、一、〇、九、二、〇、
一、一、四、一、〇、〇、
八、五、〇、〇、
點受著發

通電先次長剛沖

南東支隊長

南支電第一二八號

「レンドバ」港東側地區ヨリ西側地區正面ニ於テ作業中
ノ重砲ハ十四榴級三門 十五加農砲級二門ニシテ本朝
來尙新砲ノ据付工事ヲ續行中ナルモノ如シ

(二日八時二十分)

(終)

2035

至急極秘

昭和十八年七月二日

電報

七二
一〇九二〇
一四一〇〇
一五〇〇
一六二五
點受著

通電先次長副沖

南東支隊長

南支電第一二七號

「レンドバ」港ニ重砲ヲ据付ケ終リ二日七時三十五分ヨリ
「ムンダ」ニ對シ射撃ヲ開始中ナリ（七月二日七時五十五分）

（終）

2036

同島ニ飛行場ニ適スル地アリ

我が司令部偵察機一日之ヲ偵察セルモ天候不良ニシテ目的ヲ達セズ明日二日再行スル筈

二、ソロモン群島方面情勢

(1) ウイツクハム警備隊三十日十二時以降敵ト激戰中

我が兵力 陸軍一小隊、海軍約二〇〇名

(2) 「ビル」ニ來襲セル敵驅逐艦二隻ハ三十日六時四十分一時退却セシモ再ビ四隻トナリ來襲ス

午後通信杜絶シ狀況不明

陸軍約二中队 海軍二〇〇名

(3) 三十日夜我が驅逐艦ハ二回ニ旦リ「レンドバ」島北岸附近ニ出撃セルモ天候悪シク敵影ヲ認メズ

(4) 一日四時三十分頃敵小型輸送船五隻ハ「レンドバ」島ニ揚陸中ニシテ七時三十分頃ノ偵察ニ依リバ更ニ五六〇〇噸

級輸送船九隻「レンドバ」港西側接岸揚陸中ナル大
發約五〇隻ヲ認ム

港外ニ大型驅逐艦四隻哨戒中

(5) 八時三十分我が艦爆六機、戦闘機三四機「レンドバ」
附近ノ敵艦船ヲ攻撃シ大型驅逐艦三隻撃沈一隻
ヲ炎上セシム

在空中敵戦闘機四〇機中二七機撃墜セリ(内六機ハ
不確實)

我が損害 自爆未歸還三機、戦闘機五機

(6) 十六時四十分敵高速艇八隻「レンドバ」出港哨戒中

水陸兩用戦車ヲシキモノ七臺「アンバ」島影

ニ現出セタリ

(7) 一日陸海軍機ノ偵察ニ依リバ十三時三十分頃「ルツセル」島
「コリ岬」「ウラギ」附近ニハ巡洋艦四隻、驅逐艦一四隻

輸送船ニ二隻及航空母艦ヲラシキモノ一隻アリ

(8) 又通信狀況ヨリ判斷スルニ「ガタルカナル」島南方水域

ニ「ソロモン」群島方面攻略部隊ノ旗艦アルモノノ如ク其

ノ通信艦船ニ二隻ニ達シアリ

尚「エスピリサント」附近ニモ敵ノ輸送船アルモノノ如シ

(9) 我が潜水艦ハ一日「レンドバ」島東西両側ノ水域ニ各一

隻配置シアリ

目下二隻同島ニ向ヒ急行中 明二日更ニ二隻増派スル

豫定ナリ

(10) 明二日十時三十分第六飛行師團ノ重爆二八機 戦闘

機三六機「レンドバ」島ヲ攻撃スル豫定ナリ

(終)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or printed text on the paper.

日本標準規格 11-1

2040

至急極秘親展

昭和一八七二

電報

七、一、一九一〇
七、二、一〇五〇
一、一〇五〇
一、一五五〇
點受著發

南支隊長

通電先 次長、剛沖

南支電第一二〇號（電註 一部未著ナルモ提出ス）

一、六月三十日中ニコレンドバル島ニ上陸セル敵兵力ハ約三大隊ニシテ七月一日朝ヨリ盛ンニ重材料ヲ「ムンダ」港附近ニ揚陸シアリテ終日爆破音ヲ聞ク點ヨリ見テ重砲ノ据付作業ヲ實施シアルモノト判斷ス

以下一部未著

二、敵側ハ重砲ノ据付ケ作業完了スルヤ（二二日後ト判断）直
 チニ一部ヲ以テビケイ方面ヨリ攻撃手ニ主力ヲ以テムンダ
 正面ニ上陸ヲ企圖スルモノト判断セラル
 三、支隊ハ目下極力コレンドバ港附近ニ設備セラルベキ敵重砲
 ニ對シ陣地掩蔽ニ努メ敵上陸ニ際シテ之ヲ水際ニ破碎スル
 如ク企圖シアリ（七月一日十七時）

（終）

至急秘親展

昭和一八七三

電報

剛部隊參謀長

通電先次長、猛岡、堅、襲、夏、ガスマタ

剛一電第七五四號

第六報其ノ四

「ムンダ」方面

一、一日七時三十分「レンドバ」港附近ニ接岸揚陸中ノ輸送船九隻アリ又二日五時三十分頃小型輸送船四隻「レンドバ」港ニ向ヒ前進中ニシテ戰車ヲシキモノ多數積載シアリ
二、洋兵團ハ二日重爆一八戰闘機ニシテ以テ十一時二十分「レンドバ」港ヲ攻撃揚陸點ヲ火網ヲ以テ捕捉器材置場一箇所ヲ爆碎一箇所ヲ炎上セシメタリ

又在港中ノ大發多^ク數ヲ火網ニテ捕捉シ輸送船一隻ニ
直撃彈ヲ與ヘタリ

フレンドバ港ニハ五千噸級輸送船四太發數十隻ヲ認
ム

我が損害三式戦闘機三未歸還ナリ

(終)

至急親展

糾

七、二、一、九、三、〇、七、三、
三、一、〇、五、四、〇、
一、四、五、五、〇、
一、四、五、五、〇、

電報

次長宛

南東支隊長

南支電第一四五號（電註、通信崩し甚ダシキ爲提出遅延ス）

十一時三十分友軍機ノ爆撃以後敵ノ「レンド」バ「港」附近ヨリノ

砲撃ハ日没漸ク止ム午後天候不良ナルモ敵數機殆ンド終

始上空ヲ哨戒ス十四時五十七分敵ノ大發一七隻ハ「ルビア

ナ」島ニ揚陸ス十六時三十分頃山砲ヲ以テ射撃ス効果ハ

四語不明照會中ハ退却ス

十三時四十五分「バイロコ」入港中ノ柏丸ハ敵ノ爆撃ニ依リ沈

沈ス輸送ハ大部未了、十六時四十五分敵驅逐艦二隻ヲ

ツピング岬ヨリ東ニ移動ス本朝來射撃セル敵重砲兵ノ

位置ハ「ココラナ」島北岸椰子林中ニシテ東ヨリ一門、二門、

終

至急親展

秘

電報

七三

昭和一八、七、三
一〇〇〇發
三二五着
四〇五受
六四〇點

南東支隊長

通電先 次長 剛沖 (剛八第八艦隊南東方面艦隊傳令度)

南支電第一五四號

此ノ際先ヅフレンドバ港附近ノ敵ヲ撃碎スルハ今後ノ攻勢企圖ヲ封殺スル爲緊要ナリ 之ガ爲フレンドバ港附近ノ敵重砲部隊ヲ撃碎スルノミナラズ敵ノ後方ヲ遮斷シ特ニトラチカタル島東側水道ノ閉塞輸送船團ノ撃滅ヲ策シフレンドバ港ヲ殘シ強行上陸スル敵ヲ破摧スルヲ要ス

(三日七時三十五分)

(終)

2047

陸軍

秘親展

昭和十八年七月三

電報

七、
一〇三〇〇〇
二〇四〇〇〇
二四四〇〇
五〇〇
點受著

南支隊長

通電先 次長 剛 沖 聯合艦隊 第八艦隊

南東方面艦隊

南支電第一四八號（不明箇所再電要求中ナルモ取敢ズ）

一、敵ハ二日朝迄ニフレンド港附近ニ重砲ノ据附ヲ概ネ完了

セルモノノ如ク朝來主トシテ「ムンダ」飛行場附近ヲ射撃手ス

現出セル敵砲兵一門ニシテ其ノ内一四榴五門 一五加四

明ヲ有スルモノノ如シ

十一時三十分友軍機ノ爆撃以後砲聲ハ止ム

「アンバアンバ」島「ルビアナ」島ニハ晝間兵力ヲ逐次増加シ

夕刻山砲 日没後八糎砲ヲ以テ此等ノ島ヲ射撃ス相

2048

當ノ效果ヲ收メタルモノ如シ敵機午後悪天候ニ拘ラズ盛ニシタ刻迄哨戒ス

二「コロバンガラ」島ニ對シテハ空爆ノ外現在迄ニ敵上陸ノ徴ヲ認メス

三以上ニ依リ敵ハ明三日朝ヨリ「ムンダ」附近ニ強行上陸開始ノ（以下照會中）

四現在迄「ムンダ」ニ於ケル我が損害 柏丸沈没ノ外輕微ニシテ志氣旺盛ナリ（七月二日二十一時）

（終）

至急極秘親展

昭和一八七、三

電報

七、三

一〇〇〇發
三二〇著
一〇五受
一五〇點

南東支隊長

通電先 次長剛冲第八艦隊聯合艦隊南東方面艦隊

南支電第一五三號

六時四十分ヨリ「レンドバ」及「アンバアンバ」島ノ敵ハ「ムン
ダ」ニ對シ砲撃ヲ開始ス

(三日六時四十五分)

(終)

2050

至急秘親展

昭和一八、七、四

電報

七、四、〇〇
一〇三二〇五〇
〇〇四〇〇
點受著發

次長宛

剛部隊參謀長

剛方參電第七八號（電註其以下未著電要求中尤モ取敢テ提出）

三日夕刻迄ニ知り得タル概況其ノ二

「ムンダ」方面

一、諸情報ヲ綜合スレバ「レンドバ」島ニ上陸セル敵ハ益々増大

スルモノト推定セラレ其ノ一部「ラビヤ」島「アンバ」島及「ワナ

「ナ」島ヲ占領シアリ又其ノ重砲ハ「カロラ」島ニ一四、五糧級

九門「レンドバ」島汲水所附近ニ一〇糧級ニ門ヲ展開ニ日

七時五十分以降射撃ヲ開始シアリ

（以下未著）

2051

至急親展

昭和一八、七、四

陸軍

秘

電

報

七、四

〇〇〇〇
九八七
二二四
〇〇五
點受著發

南東支隊長

通電先 次長 剛沖

南支電第一六五號

一、朝來敵機ノ活動並ニ砲撃ハ間斷ナク續行セラレタルモ日没

ト共ニ止ミ夕刻ヨリ豪雨トナリ敵機ノ哨戒モ之ガ爲ナシ

二、アンバアンバ島ニ對スル夜襲ハ十九時三十八分其ノ成功

ノ信號ヲ確認ス

三、十六時四十五分アンバアンバ島ヨリ大發多數東方ニ移

動セル外一般ニ大ナル艦船ノ移動ナシ

四、十二時五十分頃「ムンダ」上空ニ於テ友軍機トノ空中戦アリ

五、我が方本日ニ於ケル損害ハ極メテ輕微ニシテ我が夜襲ノ

2052

成功竝ニ航空兵力及地上兵力増援ノ報ハ一般ノ志氣
益々揚ガル

(三日二十一時三十分)

(終)

(參謀本部ハ軍令部部長ニ傳ヘラレ度)(註 第二課ヨ
リ傳ヘラレ度)(剛ハ第八艦隊南東方面艦隊聯合
ニ傳ヘラレ度)

至急秘親展

昭和十八年七月四日

電報

三	一	七	四	〇	〇	發
四	〇	七	三	〇	〇	著
四	一	〇	七	四	五	受
四	一	〇	七	四	五	點

南東支隊長

通電先 次長 剛沖 (剛八第八艦隊、聯合艦隊傳へ度)

南支電第一六一號

一、砲撃ニ續キ十三時五十分ヨリ十三時五十五分ニ亘ル間輕爆一八

機重爆一二機計三〇機ノ爆撃ヲ受ク 爆撃目標ハ飛行場

及高射砲陣地附近ナリ

目下ノ所效果不明ナルモ被害輕微ナル見込ナリ

二、敵魚雷艇ノ「アンバアンバ」島以西小島間ノ來往頻繁ナリ

三、爆撃(一語不明)ヲ派遣シ哨戒中

(三日十四時十分)

(終)

2054

昭和六、七、四

六	五	五	九
四	二	一	三
五	五	三	〇
點	受	著	發

南東支隊長

通電先次長岡沖

(剛ハ第八艦隊、南東方面艦隊ニ傳ヘラレ度)

南支電第一六九號

七時五十分重砲及艦砲ノ射撃ヲ開始ス、

重砲ハフレンドバル港附近ニ新陣地現出ス

(四日八時)

終

昭和一八七四

極秘親展

軍機

電

報

參本七月四日二十時受付

R.D. 方面防備指揮官

通電先 次長 剛 沖

(本電海軍省ヨリ受領ス)

一、チオテ「夜當地大發ヲレテ在QHWNノ精銳ヲ以テQ—

Tノ敵ヲ夜襲ス、依テ「チエツ」「チオテ」驅逐艦輸送

船ハQ—S「ティツピング」岬附近及北東ハ料附近ニ強行

上陸シ夜襲ニ協力セシメラレ度

二、右強行上陸實施セラレザル場合ニ於テモ夜襲ヲ決行スルヲ以

テSNB電令作第三二六號(剛方參一電第七六八

號)輸送ハ延期セラレ度

(終)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or printed text on the paper.

日本標準規格 B-14

2057

至急極秘親展

昭和一八、七、四

電報

七、三

一六三〇〇
一七〇〇〇
一九〇〇〇
點受著發

南東支隊長

通雷先次長剛冲

南支電第一五七號

一、コレンドバ港ノ重砲六門ハ十時我ガ海岸既設陣地ニ對

シ破壊射撃ヲ開始セリ

ニ敵戦闘機約二〇機上空哨戒中

(剛ハ第八艦隊南東方面艦隊ニ傳ヘラレ度)

(終)

2058

至急秘親展

昭和一八七五

電報

四二二〇發
四二三〇著
五〇五〇受
五〇五〇點

剛部隊參謀長

通電先 次長 猛岡 堅

剛方參一電第七九五號

四日夕迄ニ知得セル概況 其ノニ

「ムンダ」方面

一 三日夜佐久間、宮内支隊ハ擾亂ノ目的ヲ以テ歩兵一

小隊ヲ以テ「アンバアン」島ヲ夜襲シ其ノ目的ヲ達成セリ

二 敵ハ依然「レントバ」島ニ兵力ヲ増強中ナルモノ如ク四日四

時四十分頃輸送船八隻「レントバ」港附近ヲ同港ニ向ヒ

タリ

(終)

昭和八、七、五

10

六	六	三	〇
五	〇	五	四
〇	〇	〇	〇
點	受	著	發

南東支隊長

號
外

南支電第一四八號中第三項函電

三、以上ニ依リ敵ハ明三日拂曉ヨリ「ムンダ」ニ對シ[?]強行上陸ヲ

開始スルノ氣色濃厚ナリ

終

至急極秘親展

昭和十八年七月五日

電報

六
七
五
〇 〇 〇 〇
九 七 六 一
一 一 一 三
〇 〇 二 〇
點 受 著 發

南東支隊長

通電先次長岡沖

(剛) 第八艦隊、南東方面艦隊ニ傳ヘテ度)

南支電第二八二號

剛方參一電第七八一、七八九號返

當方面戰局緊迫ノ折柄御懇電ニ接シ誠ニ感激ニ堪ヘズ
層健闘シ御期待ニ副ハンコトヲ期ス

當方面ノ情勢ニ關シテハ
一報告ス

既ニ御賢察賜リアル所ナルモ「ムンダ」附近ノ防備ト「コロンバン」ガラノ防備トハ唇齒輔車ノ關係ニ立ち「ムンダ」ヲナクシテ「コロンバン」ガラノ防備ハ意義ナシ

而シテ「ムンダ」ノ防衛ニ最モ痛痒ヲ感ゼシメアルモノハ實ニ「ヒン
ドバ」港附近ニ敵ノ設堡セル大口徑重砲陣地ニシテ當方面部
隊ノ現有兵力ヲ以テテハ之ガ制壓ニ由ラレ之ヲ制壓センカ
爲ニ至寶ノ航空戦力ヲ投入スルコト固ヨリ然ルベシト雖モ他
ノ方策ヲモ併セ考慮シ迅速的確ニ之ヲ撃滅スルコト緊要
ナリ從ツテ此ノ點御考慮ノ上御指道スアラントヲ望ム
又「ムンダ」「コロバンガラ」附近ノ兵力ヲ増強シ戦力ノ強化ヲ
考慮下サルコト誠ニ感謝ニ絶エザル所ナルモ有力ナル一部ヲ敵
ノ豫期セザル「レンドバ」島ノ一角ニ上陸セシメ當方面部隊ト
相呼應シテ敵ヲ一撃ニ捕捉撃滅スルノ方策ヲ第一義トスルヲ
最モ緊要ナリト信ズ 既ニ御決定アリタル作戰方策ニ對シ
聊カタリトモ立意見ヲ差挾ムハ本意ニアラザルモ現地指揮官
ヲ所見ヲ御理解得ル要アリト認メ敢テ具申ス本件ニ關シテハ
八聯特太田司令官ト全然所見ヲ同ジウシアリ(四期二十三時七分)(終)

至急秘親展

昭和十八年七月五

電報

七、
四二〇〇〇發
四二〇三五發
五〇五〇〇受
五〇一〇〇點

次長宛

剛部隊參謀長

剛方電第七七八號（七月四日配布未著分）

又「レンドバ」島ニ多數ノ戰車（四、五〇輛ト推定ス）ヲ揚陸セ
シメタルガ如ク其ノ水陸兩用戰車ヲシキモノ「アンバアンバ」島ニ
現出スル等敵ノ「ムンダ」攻撃準備ハ急速ナル完成ヲ豫想ス
ニ敵後方ニ於テハ「テヂバリ」島「ツビル」港及「ガツガイ」島ニ進
攻シ後方連絡線設定整備シツツアリ

（終）

2063

至急極秘親展

昭和一八七五

電報

四一五田〇發
五〇五〇〇著
五〇五〇〇受
五一〇三〇點

南東支隊長

通電先 次長 剛沖

(剛八第八艦隊 南東方面艦隊ニ傳ヘラシ度)

南支電第一七二號

(七月四日配布ノ續キ)

算定具ヲ携行シアルモノノ如シ又「ルデアナ島」ニモ此ノ機
關銃約五五門 配置シアルモノノ如シ

(終)

至急極秘

昭和一八七、五

電

報

七、五

一〇
二〇
三〇
四〇
五〇
六〇
七〇
八〇
九〇
一〇〇

南東支隊長

通電先 次長 剛沖 (剛八第八艦隊南東方面艦隊傳へ度)

南支電第一八七號

敵ハ本朝來ルビアナ? 島ニ續々兵力ヲ集結シアリ

同部隊ノ攻撃ヲ近キモノト判斷セラル

(終)

2065

陸軍

至急極秘親展

昭和一八七六

電報

七五

一六、〇〇〇
二二、〇〇〇
二二、一五〇
二二、五〇〇
點受著

南東支隊長

通電先次長、副、沖

南支電第一八九號

一、天明ト兵ニ開始セル敵重砲午前中ノ射撃ハ昨日ニ比シ開散

ニシテ射撃手「バンガ」島ノ砲兵陣地附近及「ムンダ」飛行場附

近ニ集中ス

二、敵ノ重砲ハ「レンドバ」港熊河西方椰子林中ニ約四門「ココロ

ナ」島ニ約一五門計一九門及「ルビアナ」島三七高地西南側

附近ニ數明アリ防空火器ハ既報ノ通

三、相川東方ニ上陸セル敵ハ本日尚増加シアリ

歩兵第百二十九聯隊第十一中隊主力ハ相川ノ線ニ於テ之

2066

ト接觸ス

四歩兵第百二十九聯隊第三大隊主力ハ昨夜「ムンダ」ニ到
著ス

日本標準見落 B-4

2067

陸軍

至急極秘親展

昭和一八、七、六

電報

七、四、一、三、三、〇、發
七、五、一、一、五、五、著
七、五、一、一、二、五、受
五、一、六、五、〇、點

南東支隊長

通電先 次長 剛沖

(剛ハ第八艦隊、南東方面艦隊ニ傳ヘラレ度)

南支電第一八一號

「古島ニ揚陸シタル人員物件ハ不明ナルモ連絡ノ上(ニ語不明)ヲ有シ慎重ナル上陸方法トシテハ目下大發ニ依ル直送方法ニ期待シアルモ敵ノ妨害ニ依リ早晚不可能トナルコトヲ豫期セザルベカラズ 此ノ場合「バイロコ」方向ヨリ「ムンダ」ニ向フ陸路ハ距離長遠且地形峻峻ニシテ二日ヲ要スルノミナラズ「アイヤ」方面ニ進出セル敵ノ脅威ヲ受クル關係アリ 依ツテ「バンガ」島附近ニ適地ヲ選定シ之ニ大發ヲ進入セシメ、

爾後陸路「ムンダ」ニ輸送スルコト致シ度依ツテ戦車師團ハ
 橋梁構築ノ爲、至急道路工兵ニ箇中隊ノ進出方乎
 配相成度
 (終)

日本標準電報 B-1

2069

至急極秘親展

昭和一八七六

陸軍

電報

七六〇〇五〇〇
一〇九三五
一四二〇五
點受著

南東支隊長

通電先 次長 剛沖 第八艦隊 南東方面艦隊 聯合艦隊

軍令部

南支電第一九七號

四日二十二時四十五分敵ハ巡洋艦四ヲ以テ「バイロコ」ニ砲撃
續イテ其ノ一部ハ「ライス」灣ニ上陸ス 敵ハ生文ヲ以テ「バイ
ロコ」ノ我が重砲陣地攻撃ヲ要求シ又大發數十隻海面ニ漂
流シアル等「バイロコ」附近ノ我が一四糎砲ノ反撃ハ意外ノ效
果ヲ收メタルコト確實ニシテ其ノ後ノ敵情ヲ推察判斷スルニ同
方面ニ對スル敵企圖ハ頗挫ヲ來セルモノ如シ

本日午後敵ノ編隊機ハ「バイロコ」重砲陣地ヲ爆撃シタルモ

2070

大ナル被害ナリ

五日六時二十分ヨリ「レンドバ」方面ノ敵ハ重砲射撃ヲ開始
ス其ノ彈著ハ飛行場西ヨリ漸次我が左翼方面並ニ飛行
場北方ニ及ブ其ノ射撃ノ景況モ午後逐次熾烈化ス其ノ兵
力ハ前電ノ如ク重砲ニ〇數門内外ニシテ尚逐次増加ス
敵砲撃手ニ依ル現在迄ノ我が損害極メテ輕微ナリ

「アイ川」東方ノ敵ハ逐次近ク此ノ方面ノ我が陣地左翼ニ
對シ重壓ヲ加ヘ來ルモノト判斷セラル

本日ニ於ケル同方面ニ對スル「レンドバ」港ヨリスル移動綜合
兵力ハ小型輸送船三大發ニ〇程度ナリ

歩兵第百二十九聯隊第十中隊ハ「アイ川」ノ線ニ於テ敵ト接
觸ヲ保持ス附近一帯濠雨ニシテ戰場一般ニ沈靜ナリ（七月五
日二十二時）

（終）

陸軍

至急極秘親展

昭和一八、七、六

電報

七、六

一〇〇
一三三
一四三
一五五
點受著發

南東支隊長

通電先 次長 剛沖 第八艦隊 南東方面艦隊 聯合艦隊

南支電第一九九號

一、フレンドバ港附近ノ敵ハ重砲ヲ主體トス步兵主力ハ逐次相

川方面ニ上陸シ五日ヲ刻迄ノ兵力ハ約二千ト判斷セラル

二、當方面ノ敵ノ眞面目ナル攻撃ヲ開始ハ、バイロコ方面戰況ノ

進展ニ連繫シテ行ハルモノト判斷セラルモノ、バイロコ方面ノ

狀況ノ進展ノ度ニ依リテハ之ガ連繫ナク速カニ開始セラルルハ

算又大ナリ

三、今後ニ於ケル我ニ航空隊ノ協力ハ相川方面ノ擾亂及、バイ

ロコ附近ニ對スル敵ノ企圖妨害ニ重點ヲ指向セラルルヲ

2072

有利ナリト認ム

(終)

日本標準規格 B-4

2073

至急極秘親展

昭和一八七六

電報

七六

一四〇〇
一六一五
一六四〇
一八三〇
受著發

南東支隊長

通電先次長、剛、沖

(剛八第八艦隊、南東方面艦隊ニ傳ヘラレ度)

南支電第一七六號

剛方參一電第七八二號返

追及兵力ハ左記ノ如ク部署ス、ムンダ進出兵力ヲ

先ヅ輸送スル如ク手配アリ度

ムンダ 歩兵第十三聯隊ノ一大隊、歩兵第二百二

十九聯隊ノ追及部隊、獨立速射砲第二大隊(一中隊欠)

獨立山砲兵第十聯隊第五中隊、工兵第六聯隊ノ一

部、第五十三師團衛生隊ノ一部、船舶工兵第二聯隊

ノ一部

「コロバンガ」 歩兵第十三聯隊ヲ輸送スル豫定ニ拘
ラズ第三十八師團ノ速射砲一中隊

(四日十六時十五分)

(終)

日本標準規格 B-4

2075

至急秘親展

昭和一八七七

電報

次長剛冲

通電先

南東方面艦隊

南東支隊長

第八艦隊聯合艦隊

南支電第二〇一號

一昨五日夜「レントバ」島ヨリ敵「ボート」ヲ奪取シ歸還セ

ルモノノ報告(七月三日ニ於ケル狀況)ニ依レバ同島派遣ノ

歩兵第二百二十九聯隊第七中隊(第二第三小隊缺)及

海軍部隊ハ消息不明ナルモ第七中隊第二小隊ハ「レント

バ」港及「バネツタ」岬中間山中ニ健在シアルモ糧食缺

乏シアリ

「レントバ」港附近ノ敵ハ海岸椰子林ニ黒色天幕ヲ使

用シ兵力ハ砲兵ヲ主トシテ大發約六〇隻、水陸兩用

戰車二〇―三〇ヲ認ム

二 本六日午前ニ於テ敵ノ重砲射撃ハ熾烈ニシテ「ムンダ」飛行場周邊陣地「ムンダ」揚陸地周邊破壊射撃ヲ

實施セリ

三 本六日午前「バイロコ」「コロンバンガラ」島空襲ヲ受ケ「バイロコ」損害輕微、「コロンバンガラ」島詳細不明

(六日十三時)

(終)